

# 札幌コンサートホール改修設備工事に係る設備設計 選定理由及び総評

本プロポーザルは、札幌市都市局建築部が発注する工事に係る設計業務を委託する者の選定にあたり、創造性、技術力、経験などを適正に審査の上、その業務の内容に最も適した設計者を選定することを目的として実施しました。技術提案書の審査については、以下を「求める提案項目」とし、的確性、独創性、実現性等を考慮して総合的に評価しています。

(1) 施設休館期間の最小化を実現するために有効な改修方法及び工程等について

## 【考慮すべき事項】

- ・工種（空調や給排水、電気や建築等）や作業エリアごとに十分な試運転期間を確保できる工程
- ・機械室の天井部など、設備配管等が輻輳している箇所における改修方法

(2) 音楽ホールとしての機能維持に不可欠な温湿度管理と音響性能維持に係る具体的な技術・管理方法について

## 【考慮すべき事項】

- ・オルガン等、楽器保管にあたっての適切な温湿度管理条件を満たす仮設空調計画及び仮設電源計画
- ・音楽ホールの音響性能の維持

(3) 技術協力者との関わり方と実施設計へのフィードバック方法等について

(4) その他独自提案について(当該業務を実施するに当たり重要と考えられる視点等)

## 1 選定理由

### 【選定者】株式会社ビーゴーイング

当該施設の空調系統や改修範囲を理解し、仮設空調を抑えた合理的な工程計画や、休館中・パイプオルガン改修時の楽器への温湿度・粉塵対策など、音楽ホールの特殊性に配慮した細やかな計画となっており、ECI方式の趣旨を踏まえた協力体制の構築に加え、BIMの活用や将来の改修を見据えたデジタルアーカイブの構築などが高く評価された。

## 2 総評

選定者が評価されたポイント等を示した総評は以下のとおりです。

対象設備の的確な把握や絞り込みにより工期短縮を図る提案や、仮設空調を設置せず改修済みの空調機を最大限活用する計画、試運転の時間分散など合理的な計画が評価されました。また、音響性能の維持や楽器の保管に不可欠な温湿度管理についての提案や、パイプオルガンのオーバーホール期間中の粉塵・振動対策など、本施設の特異な要件に対する細やかな配慮も評価されました。一方で、仮設計画に関する詳細な記載が不足していると

いう意見もありました。ECI方式について、技術協力者との協力体制や手戻り防止フローを意識したプロセス、BIMを活用したイメージ共有の効率化や施工性への配慮が評価された一方、技術提案を実施設計のプロセスへフィードバックしていく過程の、更なる具体化がやや不足しているといった意見がありました。